

- ◆企画名 関大なんでも Q&A (統一学園祭期間)
日 程 平成 25 年 11 月 1 日 (金) ~11 月 4 日 (月)
場 所 総合学生会館凜風館前ブース
参加者数 12 名 (ピア・サポータ 8 名、研修生 4 名)
目 的

学園祭期間中の学内は普段とは異なり、非常に多くの人々と催し物で混雑している。そのため、目的の展示や模擬店に辿りつくまでに道に迷ったり、普段は利用しない学内施設を利用する必要に迫られることもある。一方、学園祭期間中に困っている学生のサポートを行う施設は少ない。こういった学生に対して、同じ学生の立場からのサポートまたは適切な場所への橋渡しをする必要があると考えた。

本事業では、学園祭の実施期間中に何か困ったことが起こった学生をサポートすることを目的とする。加えて、屋外に出て学生を支援する活動を通し、ピア・コミュニティの周知を二次的な目的とする。

内 容

本事業では、凜風館 1 階屋外にブースを設置し、学園祭において困っている一般学生に対して、道案内やイベントの時間などの質問を受け、回答した。その際ピアジャンパーと腕章を着用した KU サポーターズのメンバーが、常時 2 名以上でブースに待機し対応したが、こちらから一般学生に声掛けはせず、一般学生の方から声をかけていただいた場合のみ対応した。イベントのステージや構内の学舎の位置、模擬店やトイレや自動販売機の場所を尋ねる例が多かった。その場合は口頭案内を行ったり、口頭だけでは分かりにくい場所へは、直接道案内を行った。その際、学園祭のパンフレットや大学地図を利用して案内をした。「道案内を行なっております」と記した手持ちの看板を用意したり、ブースから呼びかけを行ったため、利用者は関大生や外部の学生、保護者など老若男女幅広い年代の方が来られた。

感 想

予想以上に利用者が多く、参加者が 1 日目 33 名、2 日目 63 名、3 日目 207 名、4 日目 159 名の合計 462 名と、KU サポーターズの活動において最多の利用者数になった。特に 3 日目、4 日目の昼頃にかけては利用者数がピークを迎え慌ただしい活動となった。しかし特に大きな問題も起きず、予め準備していた地図やパンフレットのお陰で、スムーズに案内をすることが出来た。同じ質問を受けることも多く、時間を重ねるに連れ対応に慣れ、より多くの利用者の質問に答えることが出来るようになったのは良かった点であると思う。またメンバー間で前日の質問を振り返り、次の日の質問対応に備えられた。

改 善 点

- ・利用者の混雑期には、一人ひとりに現地まで案内するなどの対応が出来ず、分かりにくい場所も口頭説明になってしまったことがあったので、次に Q&A を行う時には、混雑が予想される時間帯に、人数を多く配置した方が良いと感じた。
- ・3 日目に雨が降り始めた際に、凜風館の屋根の下へとブースを後退させた為、ブースが見えにくくなってしまった。傘を差し、サポータが「なんでも Q&A」の存在を呼びかけて対応したが、もう少しブース自体が目立つよう位置に工夫を凝らした方が良かったかもしれない。
- ・凜風館下だけではなく、正門付近や法文坂方面にも、迷っていた利用者がいたかもしれない。その為、もっと時間と人数を割いて巡回すれば良かったと感じる。